

学校運営協議会議事録

|     |            |
|-----|------------|
| 校名  | 大阪府立光陽支援学校 |
| 校長名 | 藤野 洋子      |

|         |   |
|---------|---|
| 開催日時    | 令和元年12月13日(金) 10:00 ~ 12:00   |
| 開催場所    | 大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室   |
| 出席者(委員) | 小田 浩伸(会長) 平賀 健太郎(副会長) 宮本 正路(委員)<br>鎌倉 義雄(委員) 清水 健司(委員) 向江 奈津子(委員)   |
| 出席者(学校) | 藤野 洋子(校長) 前田 真紀子(事務長) 篠川 一樹(教頭) 林 佳巨(教頭)<br>吉川 勝敏(首席) 酒井 友行(首席) 石見 友一(首席) 岡本 一恵(首席)<br>古沢 宏明(指導教諭) 澤 綾子(指導養護教諭) 辻 美穂(小学部主事)<br>増田 健作(中学部主事) 菊池 亮輔(高等部主事) 西井 大介(病弱部主事) |
| 傍聴者     | 2名(本校保護者)   |
| 協議資料    | 「平成31年度年度 学校経営計画」「学校教育自己診断」「授業アンケート」<br>「教科書選定報告書」「大災害時の対応マニュアル」  |
| 備考      |   |

議題等(次第順)

- (1) 校長挨拶
- (2) 「学校経営計画」の進捗状況について
- (3) 「学校教育自己診断」について
- (4) 「授業アンケート」について
- (5) 「教科書選定報告」について
- (6) 「光陽支援学校大災害時の対応マニュアル」について
- (7) 意見交換
- (8) 教頭挨拶

協議内容・承認事項等(校長より内容説明)

1. <平成31年度「学校経営計画」進捗状況について>

学校経営計画における「基礎」「実践」「組織」「発信」の内、主に「発信」についての説明を行った。

- ①【基礎】安心安全な校内体制構築の実現(安心安全力の向上)について
  - ・教員間で気になることはお互いに注意し合ってより良い学校にしていきたい。
  - ・ヒヤリハット、インシデント、アクシデントの共有は100%実施できており、ドクターとの連携にも努めている。
- ②【実践】質の高い授業実践の実現(授業実践力の向上)
  - ・「授業振り返り研修」や「授業参観週間・交流会」を行い、10年経験者研修対象者は公開授業を行った。
  - ・専門性の高い教員2名の授業巡回を実施している。
- ③【組織】質の高い教員集団の実現(組織力の向上)について
  - ・働き方改革として、毎日7時に施錠を行っている。
  - ・下校時間の短縮のために校内の道路を舗装し、子どもたちの待ち時間の軽減、教員の休憩時間の確保に努めている。
- ④【発信】多様性社会の推進と実現(発信力の向上)について
  - ・全国肢体不自由教育研究協議会(青森大会)において、交流学习についてのポスター発表を行った。
  - ・全国ボッチャ選抜甲子園において、全国ベスト8の成績を修めることができ、PTAの協力のもと横断幕を作成して地域にボッチャの取り組みを発信することができた。
  - ・「全国ロボットプログラミング選手権」において、病弱部の生徒が出場し、近畿大会で優勝を果たした。
  - ・朝鮮初級学校との交流を継続的に実施し、国際交流を図っている。
  - ・夏季には地域の小中学校向けに「つなぎ支援」の授業を発表し、85名の教員が研修に参加された。
  - ・新森小路小学校の避難所開設訓練に参加し、地域連携を深めることができた。
  - ・「地域に役立つ学校」であるために休日の学校開放を行っている。
  - ・旭区役所と協力し、ボッチャを通して地域の事業所と交流を深めることができた。

## 2. 「学校教育自己診断」について

- ・現在回収中で次回の学校運営協議会で結果を報告する。
- ・診断項目内容は昨年度とほぼ同じである。

## 3. 「授業アンケート」について

- ・提出率は59%だった。(昨年は54%)
- ・小学部は99%、中学部は95%、高等部は87%、病弱部はほぼ100%が肯定的回答だった。
- ・回収率は他校と比べて高く、今後も回収率を上げていく努力が必要である。

## 4. 「教科書選定報告」について

- ・令和2年度使用教科書選定について報告した。

## 5. 「光陽支援学校大災害時の対応マニュアル」について

- ・想定を超える大災害時の対応マニュアルの内容について説明した。
- ・引継ぎマニュアルの使用、ホームページや光陽安心メールの活用方法について説明した。
- ・給食の時間を活用して、実際に備蓄食を食べる機会を設定する。

## 協議内容・承認事項等(委員からの意見の概要)

### 《委員より》

- ・光陽支援学校が様々な発信をしていることがよくわかった。大変良いことなので、今後もより一層進めていってほしい。
- ・町内会でもポッチャを行ったことがある。学校が区役所と連携し、ポッチャでの交流を行ったことは良いことだと思う。
- ・本日報告のあった進捗状況のすべてが、まさしく「チーム光陽」としての取り組みで、素晴らしい。(報告方法もそれぞれの先生方の役割が見えて、素晴らしいと感じた。)
- ・光陽支援に入学するために引っ越してくる人もいると聞いたことがある。
- ・先生方に想いを浸透させていくのはどうやっているか興味がある。
- ・「交流及び共同学習」の実践について、全国大会でポスター発表を行った様子を写真で見てよくわかった。研究協議会等で全国発表を行い、注目されるとその学校実践のファンのような人々ができることが多い。注目されることで先生方のモチベーションも上がり、支援教育についてもより注目されるので、今後も是非、発信については積極的に進めてほしい。
- ・プログラミングについては、全国で注目されている。他の支援校も「光陽に負けたくない」と頑張っているの、地区大会優勝で満足せず、全国大会でもがんばってほしい。
- ・チーム力に感心する。とても参考になった。いろいろな場所に上手に伝えていく方法を自校小学校でも活かしたい。
- ・保護者として来校することが多いが、今聞かされていた様々な取り組みを地道に積み重ねた上で今があると感じた。
- ・病弱部分教室の取組について、本校や他の分教室や病院の訪問学級とつながって活動している様子なども聞いて、色々チャレンジしてもらっており、小さい事の積み重ねで成果が出ていると感じている。
- ・発信は大切。関東地域は、テレビ報道や出版で取組を発信することが上手だが、関西地域は、発信力が弱いと感じることが多い。光陽支援の発信力はすばらしく、今後もがんばって発信してほしい。
- ・運営協議会のメンバー(委員)はサポートメンバーでもあるので、発信で必要な時は、いつでも活用していただければと思う。

## 次回の会議日程

|    |                            |
|----|----------------------------|
| 日時 | 令和2年2月27日(木) 10:00 ~ 12:00 |
| 会場 | 大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室        |